

事業番号	15 04 01	事業改善シート（令和2年度実施事業分）当初要求 <input type="checkbox"/> 当初予算案 <input type="checkbox"/> 補正予算案 <input checked="" type="checkbox"/> 点検	
事業名	特別支援教育推進事業費	部局	教育委員会事務局
		課・室	特別支援教育課
		実施期間	S54～
		E-mail	tokubetsu-shien@pref.nagano.lg.jp
総合5か年計画(しあわせ信州創造プラン2.0)			
8つの重点目標			
総合的に展開する重点政策	1-1 生きる力と創造性を育む教育の推進	1-2 地域とともに取り組む楽しい学校づくり	
	5-5 子ども・若者が夢を持てる社会づくり		

## 1 事業の概要

事業の現状・目指す姿 (予算編成時)	【現 状】
	<p>○障がいの重度化、重複化が進むとともに、発達障がいのある児童生徒が増加しており、インクルーシブ教育の推進と、教職員等の専門性の向上や、発達障がいのある児童生徒に対する連携支援体制の整備が課題となっている。</p> <p>○特別支援学校高等部生の就職率の向上が課題となっている。</p> <p>【目指す姿】</p> <p>○重度の障がいのある児童生徒から、通常の学級に在籍する特別な支援の必要な児童生徒まで、多様な教育的ニーズのある児童生徒1人1人に対して、小・中・高校、特別支援学校において適切な教育・支援が提供されている。</p> <p>○教職員の専門性が向上し、インクルーシブな教育が実践されている。</p> <p>○学校・保護者・市町村教育委員会・地域の関係者等が連携・協働して児童生徒の現在及び将来の自立を支援している。</p> <p>○特別支援学校高等部生の就労率向上のため、就労コーディネーターの配置に加え、特別支援学校技能検定の実施校拡大により、生徒の就労意欲向上と就労のための技能の修得を図るとともに、企業との連携を強化</p> <p>【実施内容】</p> <p>○LD等通級指導教室の増設、外部専門家派遣、副学籍コーディネーター及び就労コーディネーターの配置 など</p>

指標の状況及び目標値 [↑:改善、↓:悪化、→:変化なし]							区分(単位:千円)		R1年度	R2年度	
No	成果指標	H30年度	R1年度	R2年度	目標値	達成状況	事業コスト	前年度繰越	0	0	
								1	小学校における通級指導教室を利用している児童の割合	0.55%	0.60%
2	高等学校における個別の指導計画の作成を必要とする生徒のうち作成している生徒の割合	43.3%	44.0%	↑	44.9%	↑		44.7%	達成	1,556,520	1,868,118
3	副次的な学籍に取り組む市町村	63.0%	71.4%	↑	83.3%	↑		74.0%	達成	1,114,040	1,323,229
4	特別支援学校高等部卒業生の企業就労率	26.1%	30.1%	↑	21.7%	↓		31.0%	未達成	1,485,834	1,852,310
								決算額(B)			
								職員数(人)	3.13	3.13	

成果指標設定理由	1～4 第3次長野県教育振興基本計画、第2次長野県特別支援教育推進計画
----------	--

達成状況の分析	<p>1 LD等通級指導教室※を11室増設するとともに、サテライト教室を18室増室したことにより、個々の障がいの状態に応じた学習を受けられる児童生徒が増加した。 (※通常の学級に在籍している学習障がい等のある児童生徒に対して一定の時間障がいに応じた特別の指導を行う教室)</p> <p>2 令和元年度から県内10地区に高校特別支援教育協議会を立上げ、配慮の必要な生徒への支援の充実とその根拠となる個別の指導計画の作成・活用に係る研修を実施。高校初任者研修、キャリアアップ研修等でも個別の指導計画作成について研修の実施等により、個別の支援が充実してきている。</p> <p>3 副学籍※コーディネーターや特別支援教育推進員が好事例を市町村に紹介し、副学籍の良さを発信することにより副学籍に取り組む市町村が増加。 (※特別支援学校に在籍する幼児児童生徒が、居住する地域の学校に副次的な籍を置く取組)</p> <p>4 就労コーディネーター等による実習先の開拓数はコロナ禍でも増加したが、企業における前期実習(6月)ができないなど、実習できた生徒は減少(スーパー、介護施設等)し、就労率も減少。</p>
---------	--

主な取組	<p>✓ <b>一人ひとりの子どもの可能性を最大限伸ばす特別支援学校の実現</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自立活動担当教員を増員し、各校に自立活動チームを編成。専門性の高いチームで学級担任をサポートし個別の指導計画に基づいた質の高い自立活動の授業を実施</li> <li>・一流の芸術家やスポーツ選手等の外部専門家を活用した授業により、児童生徒の長所や可能性を伸ばす</li> </ul> <p>✓ <b>インクルーシブな社会の実現</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・LD等通級指導教室の増設(61教室→72教室)、サテライト教室の増設(2教室→20教室)により、児童生徒の教育的ニーズに応じた多様な学びの場を整備</li> <li>・副学籍コーディネーターを増員(2名)し、好事例を蓄積するとともに、市町村に紹介</li> <li>・特別支援学校の生徒が身に付けた知識、技能等を一定の基準により評価し認定する技能検定を拡充(清掃部門、喫茶部門+食品加工部門)し、生徒の意欲の向上と企業の障がい者雇用への理解の促進</li> </ul>
------	--

## 2 今後の事業の方向性

	課 題 等	今後の方向性
今後、事業をどのようにしていきたいか	<ul style="list-style-type: none"> <li>・発達障がい等があり特別な支援が必要な児童生徒数の増加(R1:5.29%→R2:5.73%※)に伴い、地域における支援体制の更なる充実が求められている。 (※義務教育で発達障がい等の診断等のある児童生徒の割合)</li> <li>・実習先の更なる開拓や障がい者雇用に係る企業の理解の促進の必要がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「適切な学びのガイドライン」を活用した校内の支援体制の充実、特別支援教育コーディネーターの養成研修、自立活動担当教員の配置等の事業を引き続き推進し、教員の発達障がいに対する理解の促進と支援力の向上を図る。</li> <li>・技能検定の取組を広く企業等に紹介するとともに、進路指導主事と就労コーディネーターの連携により、生徒の希望に応えられるような実習先の更なる開拓を進める。</li> </ul>

事業番号 15 04 01 細事業一覧（令和2年度実施事業分） 当初要求 当初予算案 補正予算案 点検

事業名	特別支援教育推進事業費	部局	教育委員会事務局	課・室	特別支援教育課
-----	-------------	----	----------	-----	---------

細事業 No.	細事業名		R 1 年度 決 算	R 2 年度 決 算
1	給与費等		118,034 千円	146,816 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和2年度 実施内容(実績)	
1	障がい者チャレンジ雇用事業	直接	県立学校等において、肢体不自由障がい者、視覚障がい者、聴覚障がい者、知的障がい者を雇用	

細事業 No.	細事業名		R 1 年度 決 算	R 2 年度 決 算
2	特別支援教育推進指導事業費		1,273,924 千円	1,608,993 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和2年度 実施内容(実績)	
1	発達障がい児等総合支援事業	直接	地域の中核となるコーディネーターの養成研修、出前研修、LD等通級指導教室担当者専門性向上研修事業、多層指導モデル構築の推進事業、専門機関との連携強化事業、高等学校特別支援教育強化事業の実施	
2	特別支援学校センター的機能充実事業	直接	自立活動担当教員による地域の小中学校の特別支援学級への巡回相談支援、外部専門家（OT, PT, ST）や芸術家、スポーツ選手等を特別支援学校に派遣	
3	特別支援教育充実事業	直接	自立活動担当教員の増員、自立介護支援員の配置、LD等通級指導教室担当教員の増員、長野県特別支援教育連携協議会の開催、副学籍コーディネーターの配置、特別支援学校の専門性向上事業の実施、「学びの改革」フロンティアスピリッツ事業の実施	

細事業 No.	細事業名		R 1 年度 決 算	R 2 年度 決 算
3	就学指導事業費		30,181 千円	27,896 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和2年度 実施内容(実績)	
1	就学相談体制整備事業費	直接	特別支援教育推進員の配置、長野県教育支援委員会の開催	
2	特別支援教育地域化推進事業費	直接	乳幼児「きこえの教室」テレビ会議システム（オンライン接続費）の導入	
3	交流教育推進事業費	直接	交流教育提携校との交流、提携校以外の相手先との交流	
4	特別支援学校就労支援総合事業	直接	技能検定の実施校拡大、就労コーディネーターの配置、産業現場等における実習の実施	

細事業 No.	細事業名		R 1 年度 決 算	R 2 年度 決 算
4	就学奨励事業費		63,695 千円	68,605 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和2年度 実施内容(実績)	
1	医療的ケア体制整備事業	直接	学校看護師の配置、医療的ケア研修、医療的ケア運営協議会の開催、医療的ケア指導医派遣研修の実施	